

教職リ一タ一専攻

授業時間割表

	1-2		3-4		5-6		7-8		9-10		1-4 条特例 (*は2年次の現職教員が履修)		
	コード	担当教員 単位	授業科目	コード	担当教員 単位	授業科目	コード	担当教員 単位	コード	担当教員 単位	授業科目	担当教員 単位	
月													
火	EM1003	佐藤 浩一、田村 充	学習支援の課題と実践 I	EM1006	大島みずき、安田 淑美	児童・生徒理解の課題と実践 I	EM1007	懸川 武史、吉田 浩之	EM1009	高橋 望、未定	学校経営の課題と実践 I	EM1033	矢島 正、山崎 雄介
水				EM1012	新藤 威、清水 喜義	多文化共生教育の課題と実践 I							
木				EM1008	懸川 武史、音山 若穂	特別活動指導の課題と実践 I	EM1009	高橋 望、未定	EM1005	田村 充、深谷 達史	授業分析実践		
金	EM1004	山口 陽弘、田村 充	教育評価の課題と実践 I										
集中	EM1022	山口 陽弘、懸川 武史	児童・生徒指導のためのロールプレイの技法と実習	EM1041	専任教員	課題発見実習 I							
	EM1026	専任教員他	教育現場実践実習	EM1043	専任教員他	課題解決実習							
	EM1037	矢島 正	地方教育行政の課題と実践										

教職リーダー

《平成29年度》後期

	1-2		3-4		5-6		7-8		9-10		1-4 条特例 (*は2年次の現職教員が履修)	
	コード	担当教員 授業科目 単位数	コード	担当教員 授業科目 単位数	コード	担当教員 授業科目 単位数	コード	担当教員 授業科目 単位数	コード	担当教員 授業科目 単位数	コード	担当教員 授業科目 単位数
月	EM1021	音山 若穂, 大島みずき 心理・発達アセスメント実習 1	EM1011	三澤敏一郎 教員の倫理 2	EM1029	矢島 正, 山崎 雄介 カリキュラム開発の課題と実践Ⅱ 2	EM1017	懸川 武史 児童・生徒指導の課題と実践Ⅱ 2	EM1044	懸川 武史 児童・生徒指導の課題と実践Ⅱ 2		
火	EM1014	佐藤 浩一, 田村 充 学習支援の課題と実践Ⅱ 2	EM1016	大島みずき, 安田 淑美 児童・生徒理解の課題と実践Ⅱ 2	EM1018	井田 廣司, 岩瀬 大樹 教育相談の課題と実践 2	EM1019	懸川 武史, 岩瀬 大樹 教育相談実習 1	EM1045	音山 若穂, 大島みずき 心理・発達アセスメント実習 1		
水	EM1020	懸川 武史, 音山 若穂 特別活動指導の課題と実践Ⅱ 2	EM1023	新藤 慶, 清水 喜義 外国籍児童生徒の支援と学校運 営 2								
			EM1034	新藤 慶, 清水 喜義 外国籍児童生徒の支援と学校運 営 2								
木	EM1001	黒羽 正見, 未定 教育課程編成の課題と実践 2	EM1036	高橋 望, 未定 学校危機管理体例構築の課題と 実践 2	EM1030	高橋 望, 鈴木 達也 学校経営の課題と実践Ⅱ 2						
金	EM1015	山口 陽弘, 田村 充 教育評価の課題と実践Ⅱ 2	EM1031	矢島 正 学校経営計画ワークショップ 1	EM1035	矢島 正, 山崎 雄介 学校評価の課題と実践 2						
集中	EM1024	霜田 浩信, 安田 淑美 発達障害児特別支援教育の課題 と実践 2	EM1042	専任教員 課題発見実習Ⅱ 5								
	EM1032	山崎 雄介, 未定 スクール・リーダーシップの課 題と実践 2										

攻 専 一 一 ー タ ー ー 職 教

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内容	成績評価基準
EM1001 教育課程編成の課題と実践	2	後期 木 1-2	黒羽 正見 木村 淳一 教授 客員教授	①教育課程の諸類型, ②学習指導要領の変遷と社会的背景, ③教育課程編成とカリキュラム・マネジメント, ④学校評価と教育課程, 等について学修する。	授業中のプレゼンテーション(50%)により主として授業内容への理解度を, 期末課題(50%)により理論的実践的応用についての理解度を評価する。
EM1002 カリキュラム開発の課題と実践Ⅰ	2	前期 月 5-6	山崎 雄介 矢島 正 教授 教授	①カリキュラム開発の諸形態, ②「特色ある学校づくり」とカリキュラム・マネジメント開発, ③カリキュラム評価, ④カリキュラム開発への多様な当事者(保護者, 子どもなど)の参加, ⑤カリキュラム開発者としての教師, などについて学修する。	授業中のプレゼンテーションにより, 理論的知識への理解度と, 実践的応用に関わる着眼点の豊かさで評価する。
EM1003 学習支援の課題と実践Ⅰ	2	前期 火 1-2	佐藤 浩一 田村 充 教授 教授	児童生徒の知識の定着, 知識の活用, メタ認知等を促す教授学習の方法を心理学の理論知と学校現場の実践知の両面から検討する。	(1)学習活動を支える認知機能について正しく理解でき, (2)それに基づいて教育実践を考察する力がついているかを, 平常点(宿題・授業での発表等)50%と最終レポート50%により総合的に評価する。
EM1004 教育評価の課題と実践Ⅰ	2	前期 金 1-2	山口 陽弘 田村 充 教授 教授	実践研究に欠かせない教育効果の測定法について, 主として理論的な構築を行う。その際, 複数の実践活動を行ってきた事例を, 実務家教員からも紹介する。その中で, 事後評価と事前評価の必要性を講義する。また, 知識・技能・態度・学びの力に関する課題が実務教員から提示された上で, それに対する解決が可能な試案として提示していく形式をとる。	スプレッドシートであれば教員採用試験に合格でき, リーディング・ライティング・読解の項目に目標とする。平常点50%, 各自の発表50%により評価する。
EM1005 授業分析実践	2	前期 木 9-10	田村 充 深谷 達史 教授 講師	授業を分析・構築するための心理学的視点と実践的視点を学んだ上で, それらの知見をいかに実際の授業で活用しうるかを検討する。	授業での発表, 討論への参加などにより評価する。
EM1006 児童・生徒理解の課題と実践Ⅰ	2	前期 火 3-4	大島みずき 安田 裕英 講師 非常勤講師	児童・生徒の理解の基礎知識として, 生涯発達観の観点から人間の発達過程, 及び年齢に伴う一般的な発達特性や発達障害について学修する。また, 現代の子どもに置かれている状況と発達の課題点・及びその対応を事例検討を通して, 考察する。	発達, 発達障害についての基礎知識を修得(60%), 期末課題(40%)により評価する。
EM1007 児童・生徒指導の課題と実践Ⅰ	2	前期 火 5-6	懸川 武史 吉田 浩之 教授 准教授	児童生徒理解に基づく日常的な生徒指導を機能的に進め, 児童生徒一人一人の適応を助けて自己実現を可能にするために必要な理論と技法を学修した上で, 不登校, いじめ, 非行等の生徒指導上の諸問題に関する事例を通して, 実践的な指導力の向上を図る。	成績評価は, 出席及び授業への参加による平常点30点, 理論に関する小テスト30点, 理論に基づく生徒指導事例分析レポート40点により評価する。
EM1008 特別活動指導の課題と実践Ⅰ	2	前期 木 3-4	懸川 武史 音山 若穂 教授 教授	特別活動の目標と意義を正しく理解した上で, 学級活動の基盤となる教師-児童生徒間及び児童生徒相互の関係の望ましい在り方, 児童会・生徒会活動を効果的に進めるための学校の整備, 学校行事の適切な目標設定と評価について学修する。	成績評価は, 出席及び授業への参加による平常点30点, レポート課題(ケース研究と活動計画案)70点により評価する。
EM1009 学校経営の課題と実践Ⅰ	2	前期 木 5-6	高橋 望 鈴木 達也 准教授 非常勤	国内外の学校経営についての理論的・実践的蓄積を幅広く学ぶとともに, 現代日本における学校教育をめぐる諸課題について, 具体的な学校経営策を探究・提言する。	授業中のプレゼンテーション(50%)により主として理論的課題に関わる理解度を, 期末課題(50%)により理論的知識の咀嚼度を評価する。

児童生徒支援

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単 位	時 限 等	担 当 教 員	内 容	成 績 評 価 基 準
EM1014 学習支援の課題と実践Ⅱ	2	後期 火 1-2	佐藤 浩一 田村 充	「学習支援の課題と実践Ⅰ」を基礎として、児童生徒の学習や動機づけ等に関する理解に基づいて、理論を実践の中で具体化する方途を探る。	(1)様々な理論に基づく教授学習方法の有効性を検討でき、(2)より効果的な学習支援方法を実践的に開発する力が付いているかを、平常点(模擬授業・授業での協議への参加等)50%と最終課題50%によって、総合的に評価する。
EM1015 教育評価の課題と実践Ⅱ	2	後期 金 1-2	山口 陽弘 田村 充	教育評価の課題と実践Ⅰで獲得した知識を基にして、実際に知識や思考力測定のためのテストを作成してみる。受講者各自が自分の興味関心に依拠して質問紙、テストを得意ようになることを授業の目標にする。	課題への全体的な取り組みの姿勢、特に、各自が授業内で提案する評価の枠組が評価対象となる。さらに各自に模擬授業の実施を求められる。その各々を50%ずつ評価する。
EM1016 児童・生徒理解の課題と実践Ⅱ	2	後期 火 3-4	大島みずき 安田 淑美	児童・生徒理解の方法を習得するために、発達特性や発達障害の知識をもとにした事例の検討を行う。	発達特性、発達障害についての理解(30%)及び、事例検討への参加・課題(70%)で総合的に判断する。
EM1017 児童・生徒指導の課題と実践Ⅱ	2	後期 月 7-8	懸川 武史	非行、校内暴力、不登校、いじめ等、生徒指導上の諸問題について、共通する問題状況に関する理論を学修した上で、個別の問題に有効な要因について分析し、その理解と指導法について学修する。	成績評価は、出席及び授業への参加による平常点30点、個別テーマに関する調査・研究報告50点、事例報告20点により評価する。
EM1044 児童・生徒指導の課題と実践Ⅱ	2	後期 月 特例	懸川 武史	非行、校内暴力、不登校、いじめ等、生徒指導上の諸問題について、共通する問題状況に関する理論を学修した上で、個別の問題に有効な要因について分析し、その理解と指導法について学修する。	成績評価は、出席及び授業への参加による平常点30点、個別テーマに関する調査・研究報告50点、事例報告20点により評価する。
EM1018 教育相談の課題と実践	2	後期 火 5-6	井田 廣司 岩瀬 大樹	学校教育相談の今日的課題を概観しつつ、教員個人およびスクールリーダーの立場から、多角的に子ども・保護者などへの支援について考察を深める。また、事例検討・ロールプレイングなどの方法を積極的に取り入れられるとともに、学校と司法・行政・福祉機関などとの有機的な連携に関しても実践的に学んでいく。	平常点(30%)と、適宜実施するリフレクション(70%)をもとに、総合して評価する。
EM1019 教育相談実習	1	後期 火 7-8	懸川 武史 岩瀬 大樹	学校や関係機関において、教師として教育相談に臨み、家庭との連絡や関係機関との連携を図る。また、教育相談の現場で実践する。特別活動、特別支援活動の進め方について、多様な事例を参考にしながら、実践的な指導法を習得する。	成績は、平常の実習への取り組みと事例記録とスーパードヴィジョンを70点とし、学期末の事例研究を30点とし評価する。
EM1020 特別活動指導の課題と実践Ⅱ	2	後期 水 1-2	懸川 武史 音山 若穂	特別活動、特別支援活動の進め方について、多様な事例を参考にしながら、実践的な指導法を習得する。	成績は出席及び討議・実習への参加による平常点30点と、レポート課題(授業案の作成)70点により総合的に評価する。
EM1021 心理・発達了セメント実習	1	後期 月 1-2	音山 若穂 大島みずき	児童生徒理解のための心理検査、発達検査及び知能検査等の実施法と解釈の仕方を学ぶ。また、心理尺度に基づく実践効果の検証方法も扱う。	成績は、授業中の発表など平常点(50%)とレポート(50%)により総合的に評価する。レポートは、テーマ毎に課せられる。

学校運営

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内容	成績評価基準
EM1029 カリキュラム開発の課題と実践Ⅰ	2	後期 月 5-6	矢島 正 山崎 雄介	受講者が自ら、附属学校や協力校、現職教員の在籍校、あるいはその他先進校などにおいてカリキュラム開発事例を収集・分析し、その結果を生かしながら自身で特定領域・科目のカリキュラムの概要を提案する。	授業中のプレゼンテーションにより主として情報収集力、分析力、カリキュラム開発に関わる実践的力を評価する。
EM1030 学校経営の課題と実践Ⅰ	2	後期 木 5-6	高橋 望 鈴木 達也	学校内外の組織づくり、管理職一主等ミドルリーダー層、ミドルリーダー層一教職員等の連携の円滑化などについて、具体的な学校経営上の判断が要請される場面（教育課程編成、危機管理体制の構築、クレーム・トラブルへの対応等）を想定したワークショップ等を取り入れ、実践的力を向上させる。	到達目標は、①校内での職務に於き、学校経営に的確に参画できる力量を向上させること。②管理職としてのリーダーシップを発揮することである。授業中の課題（ワークショップ）を軸として、授業（50%）及び期末課題（学校経営方針への自身の参画方針の立案、50%）により評価する。
EM1031 学校経営計画ワークショップ	1	後期 金 3-4	矢島 正	学校経営計画立案に関わる実践的学習、及び、受講者各自が学校経営計画の運営をワークショップ形式で行う。	到達目標は、学校経営計画立案に関わる校内での検討をリードのできる知識と実践的力の獲得である。授業でのプレゼンテーションを通じて、企画力、構想力、指導力を評価する。
EM1032 スクール・リーダーシップの課題と実践	2	後期 集中	山崎 雄介 未定	各種主任、校務分掌の長、管理職など、学校におけるミドルクラス以上のリーダーの役割と実践的力について、先進事例や外国研究を通して学ぶ。	授業中の諸課題50%により実践的力を、最終課題50%により主として理論的背景への理解度を評価する。
EM1033 教師の職能発達と学校経営	2	前期 火 特例	矢島 正 山崎 雄介	校内研修や日常的な授業改善など、学校を舞台とした教師の資質向上策について、先進事例や外国研究から学ぶ。	授業でのプレゼンテーション（40%）により情報収集力と実践的力を、期末課題（研修計画立案の策定、60%）により構想力・企画力を評価する。
EM1034 外国籍児童生徒の支援と学校運営	2	後期 水 3-4	新藤 慶 清水 喜義	戦後の日本には、在日韓国・朝鮮人、中国帰国者、アジア系外国人、南米系外国人、その他外国人の増加に伴って、外国人児童生徒の増加が著しい。これら外国人児童生徒への支援や、外国人児童生徒の生活や学習環境の改善について、実践的力を評価する。	成績評価は、各回の授業への貢献（出席・課題・発表等）と編外編内での実践的力を、授業で学んだ具体的な事例の考察を軸として行う。
EM1035 学校評価の課題と実践	2	後期 金 5-6	矢島 正 山崎 雄介	学校教育に関わる各当事者のニーズのアセスメントやそれを踏まえた経営改善に資する評価の方法論について、先進事例を通じて研究する。	授業中のプレゼンテーションから理解度、構成力を評価する。
EM1036 学校危機管理体制構築の課題と実践	2	後期 木 3-4	高橋 望 未定	学校の危機管理体制の構築について、現実起きた事故のケース・スタディを交えつつ、先進事例の分析と附属校、協力校、現職院生の在籍校、警察、消防等関係機関におけるフィードバックの往還によって学ぶ。	授業でのプレゼンテーション（50%）により理論・事例への理解度を、期末課題（危機管理体制構築に関わる提案、50%）により実践的力・企画力を評価する。
EM1037 地方教育行政の課題と実践	2	前期 集中	矢島 正	地方教育行政をめぐる法制と実践上の諸課題について、近年の教育改革との関わりで理解を深める。また、地方教育行政機関等の見学を行い、実態の把握や今後のあり方について検討する。	授業中のプレゼンテーション・討論への参加（40%）と見学におけるレポート（60%）で授業内容への理解度を評価する。

